



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

根が悪い原因は病気？害虫？



この症状はどんな病気？～黒点根腐病～

【黒点根腐病(Monosporascus cannonballus)】



根を褐変枯死させるため、葉の黄化が見られ、地上部が萎凋枯死する。交配2～3週間後～収穫期まで発生する。着果負担が大きいと症状が激しくなる。**太い根は水浸状に褐変し、細根は消失する。根に直径0.5mm程の黒色小粒点**を形成するのが特徴だが、症状が軽い場合には根の褐変しか認められない場合もある。根を水洗いし、ビニール袋などで多湿条件・28℃程度に置いておくと、病斑上に**黒色小粒点**を形成する。

リソレックス水和剤

- ◆ 有機リン系の殺菌剤
- ◆ 残効性に優れています
- ◆ 病原菌の運動機能や細胞分裂の制御機能に影響を与えます



黒点根腐病
500倍 株元灌注 3L/m²
定植時・生育期(但し、収穫21日前まで)
それぞれ1回まで



**防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！
ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！**



ネコブセンチュウ



根の組織が破壊され、コブ状となり、水分や養分の吸収が悪くなる。日中葉が萎れ、株全体の生育不良を引き起こす。酷い場合は葉が黄化し、**果実肥大に影響を与えたり**、株全体を枯死させる。粘質土壌よりも砂質土壌や火山灰土壌などの**排水の良い土壌での被害が大きい。**

線虫問題にケリをつける！

ネマキック粒剤

- 線虫の種類を問わず高い効果
- 長期間の残効性があるため栽培期間の長い作物にも！
- 土壌中で成分が速やかに拡散し安定した効果

ネコブセンチュウ
15～20kg/10a 1回
定植前 全面土壌混和



センチュウから根をしっかりガード ガードホープ[®]液剤

- ▶ 生育中にも処理可能な防除剤
- ▶ 土壌条件の影響を受けにくく安定した効果
- ▶ 簡便な使用方法

ネコブセンチュウ 4000倍 1回
収穫28日前まで 土壌灌注
ミツバチ 14日

※巣箱へ薬剤がからまないよう注意



メロンでは、処理時の展開葉に軽微な薬害を生じることがありますが、生育に影響はありません。

フルボディ

NPK
8-5-5

腐植酸(フルボ酸・フミン酸)→土壌の団粒化
海藻抽出成分配合→移植後の新根発生能の向上



定植ストレスを軽減・活着促進！

育苗期・定植前 1,000～2,000倍 灌注

フセキワイド[®]フロアブル

※バルコート水和剤・フロアブルとの使用回数注意

うどんこ病に優れた予防効果！
新規作用機作のピリダクロメチル含有

1,000倍 / 収穫前日 / 4回以内

うどんこ病・つる枯病

※幼果期のメロンに対して薬害を生じるおそれがあるので、
かからないように注意してください。

